

2021年5月28日

報道関係者各位

東急不動産株式会社

インドネシア現地法人の東急不動産インドネシア社 BCI アジア社が選ぶ現地トップ 10 デベロッパーに 2 度目選出 外資デベロッパーで唯一の受賞

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：岡田 正志、以下「当社」）の現地子会社である東急不動産インドネシア（本社：ジャカルタ首都特別州、社長：池田 秀竜、以下「TLID」）は、BCI アジア社により選出される2020年インドネシアトップ10デベロッパー「BCIベストデベロッパー2020」に外資系デベロッパーで唯一選出されましたのでお知らせいたします。

インドネシアトップ10デベロッパーの選出は、オーストラリアおよびアジア各国で不動産・建設関係の調査を実施しているBCIアジア社が東南アジア7か国にて2011年より行っており、プロジェクトの環境配慮性能等に基づき、各デベロッパーを評価し選出しています。

TLIDの受賞は2017年に続いて2度目です。現在、インドネシア現地で開発・工事・販売活動を実施中の「メガクニンガンプロジェクト」等が評価されたものです。
(関連URL：<http://www.bciasiatop10awards.com/>)



受賞の様子（右から3番目が TLID 池田社長）



■ メガクニンガンプロジェクトにおける取り組み

ジャカルタ特別州中心部(CBD)にあるメガクニンガンエリアで大規模複合開発「メガクニンガンプロジェクト」の開発をしており、2020年2月に本体工事に着工しました。コロナ禍でインドネシア国内で多くのプロジェクトの工事が中断するなか、メガクニンガンプロジェクトは着実に工事が進んでおり、地上4階の躯体の工事中です。分譲コンドミニウムの販売においても好評を頂いております。

本プロジェクトは TLID 及び日本国政府などが出資する株式会社海外交通・都市開発事業支援機構（東京都千代田区）の2社の共同事業であり、ジャカルタ特別州中心部(CBD)内、メガクニンガンエリアの西側玄関口に位置します。メガクニンガンエリアは大規模再開発が進んでおり、今後の発展が見込まれているエリアです。約1万㎡の敷地で分譲住宅・賃貸住宅・商業施設からなる複合施設の開発を進めております。

「BRANZ BSD」、「BRANZ SIMATUPANG」に次ぎ、インドネシアで3物件目となる当社グループ主導の都市型開発事業である本プロジェクトは、当社グループにおいて、インドネシアで初めて行う大規模複合施設開発事業となります。TLID が用地取得・開発、清水建設株式会社が設計・施工、東急不動産ホールディングスグループの東急プロパティマネジメントインドネシア（本社：ジャカルタ首都特別州）が管理運営を予定しており、用地取得・開発・設計・施工・管理運営を一貫して日系企業が主導して行う海外では数少ない「オールジャパン」の体制を構築しております。Low-E ガラスや全戸LED照明の採用などに加えて、外構や壁面の緑化、周辺道路を拡幅して歩道整備を行う等の公共貢献も行い、ジャカルタの都市化に寄与してまいります。



メガクニンガンプロジェクト
工事状況



メガクニンガンプロジェクト
完成予想図



■ BCIアジア社によるインドネシアトップ10デベロッパーについて

本賞は、2020年に開発中の物件を対象として、環境への貢献等を基準に優れた開発を行っているデベロッパーを選出しています。2020年の受賞はT L I Dのほか、インドネシアの大手財閥グループであるシナルマグループの「シナルマス・ランド」などが選出されています。

■ メガクニンガンプロジェクト物件概要

名称	メガクニンガンプロジェクト
敷地面積	約 11,254 m ² (将来道路提供面積含む)
延床面積	約 110,000 m ² (予定)
総戸数	分譲住宅 (482 戸)、賃貸住宅 (未定)
建物計画	分譲住宅・賃貸住宅・利便商業施設
マンション内の主な共用施設	屋外プール、ジム等
総合設計監修	株式会社東急設計コンサルタント
施工	JO SHIMIZU-BANGUN CIPTA MEGA KUNINGAN PROJECT (清水建設株式会社及び Bangun Cipta Kontraktor のジョイントオペレーション)

■ プロジェクト位置図

